

簡易測量（目測及び歩測）

目的：距離の概算値を目測・歩測により判読できるようにする。

★目測

1. ある距離を目で見て距離を推測し、シートに記述する。
2. その後、実際に距離を測定する。
3. 実測値と目測値の差（誤差）を求め、記述する。

★歩測

○準備

1. あらかじめ距離のわかっている区間を、歩数をカウントしながら往復する。
 - *なるべく目線をあげること。
 - *歩幅が乱れないように気をつけること。
2. 最低3回往復して、平均歩数を求める。
3. 実際の距離を、その平均歩数で割って、1歩あたりの歩幅を求める。

○計測

1. ある距離を、歩数をカウントしながら往復する。
2. 最低3回往復し、平均歩数を求める。
3. 平均歩数に自分の歩幅を掛けて、距離を予測する。
4. 実際に距離を測定する。
4. 実測値と予測値の差（誤差）を求め、記述する。